

2016年に予定されていた共通番号（マイナンバー）の基礎年金番号との連結が延期される見通しになった。

8月21日の参院内閣委員会の理事懇談会で、民主党が提案し、与党が大筋受け入れた。

これを受け、参議院で審議中の共通番号制度関連法改正案は一部修正のうえ、今国会中に成立する可能性が高くなった。

年金番号との連結の延期は、日本年金機構の個人情報流出で、情報管理体制への懸念が出ていることを受けたものだ。

延期期間を利用し、年金機構に個人情報保護の強化や業務の透明性を促す。新たな連結時期は別途、政令で定める。民主党の提案は最大で1年5か月延期できる。ただ、政府は2017年1月からマイナンバーを年金保険料の納付や支給手続きに利用する方針で、半年程度の延期に抑えたい考えだ。

（2015/08/22 読売新聞から）